

生徒の学習活動、進路選択及び心身の健康等に係る支援の状況

◎学習活動への支援

- ・レポート提出状況は良好だが教室に入れない生徒について、申請により個別スクーリング・集中スクーリング（体育）を実施
- ・楽々レポート教室（レポート作成支援）を年間10回各協力校地区にて実施
- ・個別質問への対応

◎進路選択への支援

- ・「進路の手引き」を作成し、全生徒に配布している。必ず目を通して、活用するように促している。
- ・「進路相談だより」を月に2回作成し、進路選択に関わる情報の提供などをして、意識を高めている。
- ・6月下旬に「進路講演会」を開催し、進路選択の参考になるような内容の工夫をして実施している。
- ・生徒が自宅で、県内企業の「求人票」を見られる無料のシステムを導入するとともに、就職支援コーディネーターに積極的に連絡・相談できる体制を構築している。
- ・担任が中心になって、生徒がスクーリングで登校した際などに面談を実施し、生徒・保護者・家族の意向などの確認をしている。
- ・入学（転編入学）時、進級時、卒業時にも「進路（希望）調査」を実施し、実態を把握するとともに、面談・助言などを行っている。

◎心身の健康等に係わる支援

- ・月1回程度、臨床心理士による心理相談実施
- ・対面または電話での教育相談の実施
- ・ハートサポーターによる相談
- ・アンケートによる生徒状況の把握
- ・スクール・ソーシャルワーカー（SWW）による支援（関係機関との調整、面談等）